

2016.11.14 (月) 城南三二会開催

会場：横浜崎陽軒・12:00~14:00

当の私はというと、電車に乗って都心へ行くことは本当に稀で、横浜線に乗ってから緊張の連続です。横浜駅に着いて、地下の案内所経由でやっと到着。見知った幹事の顔を見て、やっと人心地が付きました。

都会を離れていると、世間の変化(身形)に富みに疎くなっている気がして、外出を躊躇する事があります。この点、幹事の出で立ちを見て安堵した次第です。

名札の旧姓を確かめ、城南の頃の面影を辿りながら、受付開始です。明確にこの人だと断定出来ない方が多くて、名札を渡すのに一寸手間取ってしまいます。受付に来られる方も皆、澄し顔だったり、緊張しているのかしかめっ面の方が多いのです。けれども、何かの拍子や会話で、顔に笑みが浮かんだり、笑い顔になると、パッと思い出すことも多いようです。名前までは思い出さなくても、旧姓や所属していた部などが判ると、鮮明に思い出されて話も弾みます。

何と顔の表情の素晴しさ。次回から「受付」に、“笑顔でどうぞ”と張り出すことを提案しようと思っています。また服装についても、会場(開催場所)の迷惑にならなければ、“どんな服装でも可”と案内状に付記することを提案したいと思っています。

今回は、遠くは島根からの参加を含め、42名の参加者を得て、会は盛り上がりました。

諸事情で参加出来なかった方は、本当に残念な思いがあるとは思いますが、次回にはきっと参加できることと思いますので楽しみにお待ちください。

参加された方は、同期の方々に会えたり、近況を知ったりして、楽しく、大変有意義な一時を過ごすことができたことと思います。

西原潤治

昭和32年卒の同期会を
横浜崎陽軒で行いました。
61年目の32会は42名の
盛況な同期会でした。
又、松本浩之君の
平成28年春の瑞宝章
受章を皆で祝いました。

園師陸郎

